



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東  
 コード番号 5741 URL <http://www.uacj.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石原 美幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部 経理部長 (氏名) 橋本 篤司 TEL (03)6202-2600(代)  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	247,266	42.3	18,344	38.8	19,931	72.5	14,204	62.0
2022年3月期第1四半期	173,783	30.4	13,211	—	11,556	—	8,769	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 36,642百万円 (163.9%) 2022年3月期第1四半期 13,885百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	294.56	—
2022年3月期第1四半期	181.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	918,168	279,865	28.0
2022年3月期	828,729	247,589	27.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 256,693百万円 2022年3月期 227,993百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	85.00	85.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	940,000	20.1	31,000	△47.9	25,500	△51.2	15,000	△53.2	311.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	48,328,193株	2022年3月期	48,328,193株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	105,635株	2022年3月期	105,534株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	48,222,584株	2022年3月期1Q	48,225,654株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、国や地域によるばらつきを伴いつつも、総じて新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みから回復傾向となりましたが、上海ロックダウンなどの影響によるグローバルサプライチェーンの混乱や、ロシアのウクライナ侵攻の長期化によるエネルギー資源高が進んだ他、米国等でインフレ抑制に向けた利上げが進み、経済活動にも影響が及んでおります。国内経済においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限が緩和され、個人消費を中心に景気が持ち直しつつありますが、地政学リスクの高まり、急速な円安と資源価格の高騰による物価高、半導体不足等による自動車の減産、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念もあり、当社を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況にあります。

このような環境のもと、販売数量の増加やアルミ地金価格の上昇等により、連結売上高は247,266百万円（前年同期比42.3%増）となりました。損益についても、販売数量の増加や棚卸資産影響の好転等により連結営業利益18,344百万円（同38.8%増）、連結経常利益19,931百万円（同72.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14,204百万円（同62.0%増）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

#### アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界について、板類の国内需要は新型コロナウイルス感染症の影響からの回復が顕著であった前年同期に比べ微減となりました。半導体製造装置関連等は堅調に推移しましたが、自動車や飲料缶分野で減少し、板類全体としては前年同期より微減となりました。押出類に関しては、自動車、自動車用熱交換器の分野で前年同期比減少、押出類全体としても前年同期比減少しました。

当社グループの国内向け販売数量は、板類は半導体製造装置関連や建築建材関連を中心に前年同期比増加しましたが、自動車の減産の影響を受けた自動車関連の減少等により全体としてはほぼ前年同期並みとなりました。また押出類は自動車の減産の影響が大きく、前年同期比減少しました。

一方、当社グループの海外向け販売数量は、Tri-Arrows Aluminum Inc.の缶材の増加により前年同期を上回った他、UACJ (Thailand) Co., Ltd.の販売も堅調に推移しており、当社グループのアルミ圧延品総量では前年同期より増加する結果となりました。

以上の結果、販売数量の増加やアルミ地金価格の上昇等により、当期のアルミ圧延品事業の売上高は223,202百万円（前年同期比39.8%増）となりました。営業利益については、販売数量の増加及び棚卸資産影響の好転等により20,528百万円（同37.9%増）となりました。

#### 加工品・関連事業

空調関係品の販売好調や、アルミ地金価格上昇により、売上高は47,026百万円（前年同期比38.2%増）となりました。一方、営業損益については主に北米における自動車の減産の影響やインフレに伴うコストアップ等により213百万円の損失（前年同期は158百万円の利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

アルミ地金価格の上昇等に伴う棚卸資産の増加や有利子負債の増加により、当第1四半期連結会計期末の資産は918,168百万円（前連結会計年度末比10.8%増）、負債は638,303百万円（同9.8%増）となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や為替換算調整勘定の増加等により279,865百万円（同13.0%増）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,334	21,825
受取手形及び売掛金	122,709	139,296
商品及び製品	69,477	68,195
仕掛品	79,567	82,008
原材料及び貯蔵品	83,322	114,433
その他	25,461	41,786
貸倒引当金	△251	△204
流動資産合計	394,618	467,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	78,848	82,235
機械装置及び運搬具（純額）	148,518	155,954
土地	104,130	104,735
その他（純額）	25,007	27,000
有形固定資産合計	356,503	369,924
無形固定資産		
のれん	33,081	33,634
その他	8,921	9,521
無形固定資産合計	42,002	43,155
投資その他の資産		
投資有価証券	10,941	10,967
その他	24,718	26,836
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	35,606	37,751
固定資産合計	434,111	450,830
資産合計	828,729	918,168

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,549	123,948
短期借入金	103,696	124,244
コマーシャル・ペーパー	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	38,225	46,828
その他	61,666	72,123
流動負債合計	322,136	387,144
固定負債		
長期借入金	197,526	187,630
退職給付に係る負債	16,648	16,780
その他	44,829	46,749
固定負債合計	259,004	251,159
負債合計	581,140	638,303
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	52,277	52,277
資本剰余金	79,295	79,295
利益剰余金	77,738	87,843
自己株式	△338	△338
株主資本合計	208,972	219,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	885	840
繰延ヘッジ損益	600	612
為替換算調整勘定	15,814	34,454
退職給付に係る調整累計額	1,721	1,710
その他の包括利益累計額合計	19,021	37,616
非支配株主持分	19,596	23,172
純資産合計	247,589	279,865
負債純資産合計	828,729	918,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	173,783	247,266
売上原価	144,286	207,256
売上総利益	29,497	40,011
販売費及び一般管理費	16,286	21,667
営業利益	13,211	18,344
営業外収益		
為替差益	394	2,031
その他	639	1,426
営業外収益合計	1,034	3,457
営業外費用		
支払利息	1,535	1,518
デリバティブ評価損	736	-
その他	418	352
営業外費用合計	2,689	1,869
経常利益	11,556	19,931
特別利益		
固定資産売却益	4	120
その他	7	-
特別利益合計	12	120
特別損失		
固定資産除却損	97	133
その他	10	22
特別損失合計	107	156
税金等調整前四半期純利益	11,461	19,896
法人税等	1,713	4,224
四半期純利益	9,748	15,672
非支配株主に帰属する四半期純利益	980	1,468
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,769	14,204

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	9,748	15,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	△46
繰延ヘッジ損益	443	101
為替換算調整勘定	2,795	19,997
退職給付に係る調整額	△89	△83
持分法適用会社に対する持分相当額	1,036	1,001
その他の包括利益合計	4,137	20,970
四半期包括利益	13,885	36,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,833	32,800
非支配株主に係る四半期包括利益	1,052	3,843



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結子会社である株式会社UACJ 鋳鍛は、2022年4月1日付で、連結子会社である東日本鍛造株式会社を吸収合併しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、翌四半期連結会計期間以降の財政状態・経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(ウクライナ情勢に関する影響について)

当社グループは製品を製造する際に必要なアルミ地金を輸入にて調達しております。調達先としてロシア系のサプライヤーとの取引が含まれていますが、既に市場での代替調達を進めております。加えて代替性が高いことから、現時点で原料調達による当社の製造等への影響は発生しておりません。

なお、ウクライナ情勢の経済活動への影響は不確実性が高く、今後の情勢変化に伴い、財政状態・経営成績に大きな影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	加工品・関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	142,124	31,660	173,783	—	173,783
セグメント間の内部売 上高又は振替高	17,502	2,369	19,871	△19,871	—
計	159,625	34,029	193,654	△19,871	173,783
セグメント利益	14,886	158	15,043	△1,832	13,211

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,832百万円には、棚卸資産の調整額△548百万円、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,295百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	加工品・関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	202,844	44,422	247,266	—	247,266
セグメント間の内部売 上高又は振替高	20,358	2,604	22,962	△22,962	—
計	223,202	47,026	270,229	△22,962	247,266
セグメント利益又は損失 (△)	20,528	△213	20,315	△1,971	18,344

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,971百万円には、棚卸資産の調整額△432百万円、セグメント間取引消去53百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,592百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。